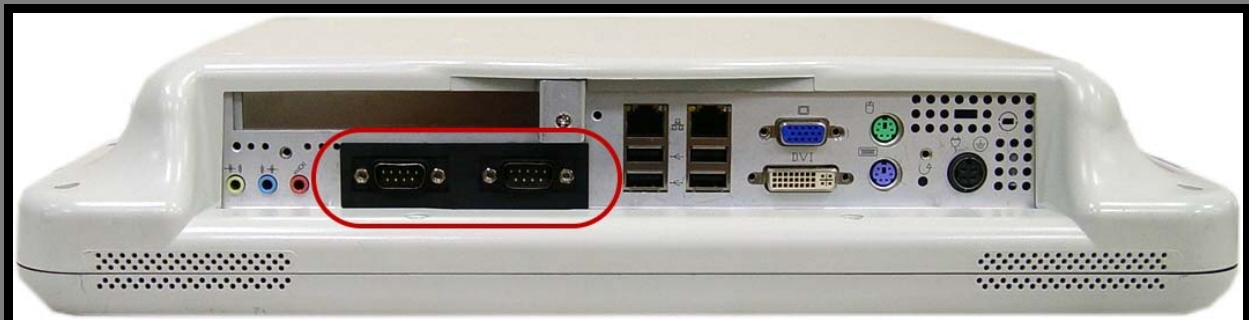


Wincomm 医療用 COM ポート分離型のタッチパネル PC  
 集中治療室(ICU)で医療機器接続を可能にする最新版の WMP-17X シリーズ



集中治療室(ICU)における WMP-17

2010年8月30日台湾新竹発- Wincomm 社は「救急医療の現場において COM ポート間相互の電子波干渉を防止してセキュリティを確保する」という COM ポート分離機能を達成した製品として自信を持って発表いたします。コンピュータの COM ポート(画像 1 参照)は入力デバイス(キーボード、マウス、スキャナー)や出力デバイス(サーマルプリンタ、ドットマトリックスプリンタ)など幅広い周辺機器の接続用として幅広く利用されています。また、コンピュータと周辺機器を接続するプロトコルとしての COM ポートは近年 USB 接続に代替されるまでの20年以上は利用されており、ここ10年前後に装備された医療機器の多くはコンピュータとの通信プロトコルとして、引き続き COM ポートが使用されています。コンピュータからの電子波干渉を防止して医療機器のセキュリティを確保するためには、通信ポートである COM ポートをコンピュータと絶縁して分離する機能が必要となります。特に集中治療室(ICU: Intensive Care Unit)においては、生体信号や反応を読み取り、記録するために数多くの医療機器がコンピュータに接続されていることで、より顕著に必要とされます。



画像 1. WMP-17 COM ポート

COMポート分離機能

WMP-17

WMP-17 COM ポート分離機能

このような機能を必要とされる医療機器システム・インテグレータ向けに Wincomm では工場出荷オプションとして COM ポート分離機能付きパネル PC を提供しております。



WMP-17 スタンド

Wincomm WMP-172 は医療用クラスではベストソリューションとなるファンレス設計で且つ CPU には「Intel core 2 duo」を搭載しており、現状では5年間の長期供給サポートが可能です。